

TYPE OF INDUSTRY



中小企業発の商品が最先端の実験装置に姿を変え、多くの農学系研究機関に導入されるケースが増えている。MRT（大阪府八尾市、塚本耕也社長、072・992・5452）が開発した小型の植物育成装置も、そう

大阪府大 MRT

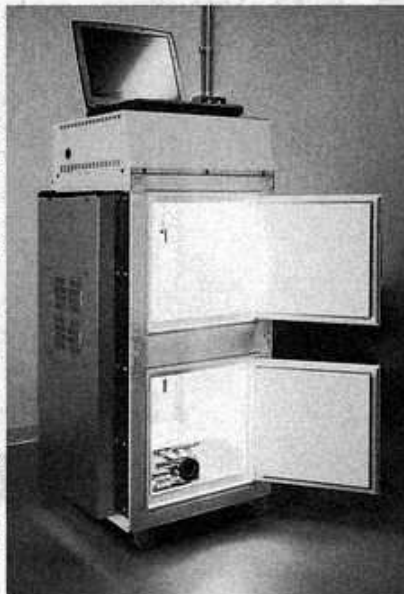
した商品の一つ。大阪向けに発売するとテレビ立大学の平井宏昭准教授の目に留まり、宇集めた。その放送をた宙航空研究開発機構（JAXA）の航空宇宙実験に参加したこと

植物育成小型装置

宇宙実験機に搭載

科学技術・大学

大阪府大と共同で開発したイネの育成装置（MRT提供）



生産効率の高い栽培管理システムの構築をテーマに、大阪府大との連携は今も続いている。実験の目的に合った装置をMRTが作り、その技術をベースに製品化している。「大学と組むことで、高いレベルでの商品開発ができる」（塚本社長）。装置の学術的裏付けも得られ、次第に評判が広がっていった。東京大学をはじめとする全国の大学や大手企業の研究所で使われているという。

（火曜日に掲載）

「何か面白い商品を作りたい」と、塚本社長は2009年に電子レンジサイズの卓上野菜工場「ベジスタ」を完成させた。一般家庭と11年にJAXAの航空宇宙実験機に搭載された。航空機を急上昇させた。急降下させて微少重力環境を作りだし、イネやトマトなどの生体

反応への影響を検証した。塚本社長は「私も航空機に乗せてもらい、大変貴重な体験ができた」と笑顔をみせた。